

令和6年度 うるま市

「めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業」

事業報告書

令和7年3月
一般社団法人 沖縄スポーツ関連産業協会

目 次

第一章 事業実施概要

(1) 事業目的	
本事業の目的	4
(2) 事業方針	
① 合宿誘致	6
② プロモーション活動	8
(3) 事業計画概要	
実施概要	10
(4) 事業実施体制	
事業実施体制	11
(5) 事業実施スケジュール	
事業実施スケジュール	12

第二章 (1) スポーツ合宿等の誘致

(1) スポーツ合宿等の誘致	
① 概要	14
② 実施内容	16

第三章 プロスポーツチームや市内事業者と連携した周遊促進業務

(1) 「阪神タイガース・うる虎商店街」	
① 概要	21
② 実施内容	21
(2) 阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー	
① 概要	24
② 実施内容	24
③ スタンプラリーのアンケート結果及び動向調査	32

第四章 プロスポーツチームを対象とした歓迎セレモニー

(1) 歓迎セレモニー	
① 概要	37
② 実施内容	37
③ メディアやSNS・HPでの掲載	39
(2) キャンプ受入機運の醸成	
① 概要	41
② 実施内容	41
(3) 情報を集約させたWEBサイトや配布物	53

第五章 協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

(1) 協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営	
① 概要	60
② 実施内容	62

第六章 (1) スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

(1) スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出	
① 概要	67
② 実施内容	67
(2) 阪神タイガースキャンプ来場者アンケート調査	
① 概要	115
② 調査結果	119

第七章 まとめ

(1) 事業総括	133
(2) 次年度へむけて	141

第一章 事業実施概要

第一章（１）事業目的

■ 本事業の目的

■ 事業目的

第2次うるま市総合計画（令和4年3月策定）をはじめとする市の各種計画に基づき、体育施設等のスポーツ資源や地域の特性を活かしたスポーツ合宿、大会及びイベント等（以下「スポーツ合宿等」という。）の誘致・受入に行政と関係機関・団体が一体となって取り組むため、令和元年度に創設したうるま市スポーツコンベンション推進協議会（以下「協議会」という。）を主体として、プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体等を対象に、うるま市が保有する施設等のプロモーションを行い、スポーツ合宿等の増加と既存チームの定着化に取り組み、スポーツ振興を図ることを目的とする。また、本市でスポーツ合宿等を実施するプロスポーツを活用し、チームのファン、選手、スタッフ関係者の消費を市内に波及させることを目的にプロモーションに取り組み、スポーツを通じたうるま市の認知度向上及び域内消費拡大を促進し、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

■ 事業内容

協議会を主体とし、行政と関係機関等の連携協力体制を整え、スポーツ合宿等の誘致拡大を図るため下記業務を実施する事。

（１）スポーツ合宿等の誘致(一部抜粋)

本市においてスポーツ合宿等を行うことが期待できるプロスポーツチームや実業団・大会等に対して、「うるま市スポーツキャンプ・受入方針」に基づき、誘致活動を行う事。

総合体育館建設後の合宿誘致に向けて、体育館等の屋内体育施設を利用するスポーツ合宿等に対して誘致活動を積極的に行うこと。

（２）プロスポーツチームや市内事業者と連携した周遊促進業務

市内飲食店等と連携し、チームのファンや選手、チーム関係者の市内における消費行動を高めるため、飲食店等を中心とした市内事業者のプロモーションを図るとともに、市内事業者に経済効果を波及させる取り組みを行うこと。

（３）プロスポーツチームを対象とした歓迎セレモニー

プロスポーツチーム歓迎の機運醸成及びメディア活用によるうるま市へのプロモーションを目的として、スポーツ合宿の受入に際し、歓迎セレモニーを実施。また、キャンプ地としての機運醸成を図るためのプレスリリースや市民への周知、その他受入機運醸成に繋がる取り組みを行うこと。

（４）協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

スポーツ合宿等の誘致・受け入れに行政と関係機関・団体が一体となって取り組めるよう協議会（本会議・運営会議）を開催し、事業の円滑な推進を図るため、本会議の下部組織として運営会議を開催する事。また、受託者は、本事業期間中において協議会の事務局として運営を担い、業務を行うこと。

第一章（１）事業目的

本事業の目的

■事業内容(つづき)

（５）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

うるま市を訪れた県外・国外を対象とする大会主催者やスポーツチーム等へのアンケート調査及びヒヤリング等を実施し、来訪者及びうるま市における直接経済効果を算出すること。

なお、市内消費額を高めるため、ヒヤリング等を通じてスポーツチーム等の需要を把握し、市内企業に還元できるかを調査すること。調査において経済効果を算出する際に、スポーツコンベンション推進補助金の費用対効果の分析、補助金の効果をまとめること。また、可能な範囲において、マスコミやファンの来訪者数や経済効果について間接効果額の把握にも努めること。

また、（２）の業務にて実施した効果を測定するため、プロスポーツチームのキャンプ時や合宿時にうるま市を訪れた交流人口の把握し、市内における経済波及効果を算出すること。なお、経済効果の算出時には市内消費と市外消費の経済効果を分けて算出すること。併せて、市内消費額を高めるため、ヒヤリング・アンケート等を通じて新たな需要を把握し、市内事業者に還元できるかを調査すること。

第一章（２）事業方針

①合宿誘致活動

スポーツキャンプや合宿誘致を行う主な目的は、経済効果および社会的効果を生み出すためである。キャンプや合宿によって生み出される効果は、誘致するチームがプロスポーツチーム(プロ野球、Jリーグ)かそうでないかによって大きく異なる。そのため、それぞれの特徴に応じた合宿誘致活動を行う必要がある。

スポーツキャンプ・合宿誘致を行う目的 経済効果・社会的効果を生み出すため

生まれる効果			
		プロスポーツチーム (プロ野球・Jリーグ)	その他のスポーツチーム (実業団・アマチュア・大学生など)
経済面	+	・ チーム消費額が大きい ・ ファン消費額が大きい	・ 通年で受入が可能
	-	・ 期間が限定的(1～3月)で ・ 受入可能数が少ない	・ チーム消費額が少ない ・ ファン消費が見込めない
社会面	+	・ 県外メディア露出可能 ・ 受入自治体の認知向上に寄与	・ チームの柔軟な対応
	-	・ チームの制約が多い	・ メディア露出が少ない

それぞれの特徴に応じた、合宿誘致を行う必要がある

プロスポーツチーム (プロ野球・Jリーグ)	その他のスポーツチーム (実業団・アマチュア・大学生など)
(2)周遊促進業務にて効果創出 →プロモーション活動	うるま市にあった スポーツキャンプ・合宿誘致活動

プロ野球やJリーグのプロスポーツチームは、うるま市にて既に毎年キャンプを実施しているため、少なくとも今年度は新たなチームを合宿誘致することは難しい。これらのプロチームでは、事業内容(2)「プロスポーツチームや市内事業者と連携した周遊促進業務」を中心としたプロモーション活動にて経済・社会的効果を最大限生み出す。

合宿誘致活動においては、実業団やアマチュア、大学生などを含む「その他のスポーツチーム」の中から、うるま市に適したスポーツキャンプ・合宿誘致活動を実施する。

第一章（２）事業方針

うるま市に適したスポーツキャンプ・合宿誘致を実施するため、うるま市の持つ以下の「前提条件」や「制約条件」を踏まえた上で、うるま市独自の誘致戦略を策定。今年度はこの戦略をもとに誘致を実施する。

うるま市の前提条件

具志川新総合体育館の建設、与那城陸上競技場改修後の
将来の合宿誘致を見据えた誘致活動

現状施設の制約条件

屋内施設

夏場の使用が難しく、
プロには不向き

- 石川体育館
→空調がない
- 具志川体育館
→空調がない
→老朽化しており、
プロには不向き

屋外施設

冬場の使用が難しく、
プロには不向き

- 具志川球場・
具志川多目的グラウンド
→1-3月はプロ野球と
Jリーグで埋まっている
- 与那城陸上競技場
→老朽化
→トラック未舗装

宿泊施設施設

大型ホテルが少なく、
受入に制約あり

- 大型ホテル
(ココガーデン/アンサ)
→1-3月のはプロ野球と
Jリーグで埋まっている
- 中規模ホテル
(春日観光/ホテル平安)

うるま市スポーツキャンプ・合宿誘致戦略

① 屋内競技

新総合体育館をみすえた

- ①-1 ターゲット競技選定
- ①-2 既存施設での段階的受入

② 屋外競技

- ②-1 体育施設を使わない、
うるまの地理的特性を
活かしたターゲット競技選定
- ②-2 プロ野球、Jリーグが
使わない屋外施設の有効活用

+

宿泊施設

- ・ プロスポーツ(プロ野球・Jリーグ)とは異なる時期での大型ホテルでの受入れ
- ・ 1年を通した、中小規模ホテルでの宿泊可能なチームの受入れ

上記戦略方針にもとづく誘致活動を実施

第一章（２）事業方針

②プロモーション活動

プロ野球やJリーグチームのキャンプ・合宿によって生み出される経済効果及び社会的効果は、チーム消費額、県外メディアへの露出、それに伴ううま市の認知向上などである。そのため、これらの効果を最大化させることを目的としたプロモーション活動を実施する。今年度は、事業概要に定められた事業目的を達成するため、高い認知度と強い影響力があり、中長期のプロモーション策定が可能で、他のチームと比較して圧倒的なファンの市場規模を誇る「阪神タイガース」（具志川野球場にて2月にキャンプ実施）を活用したプロモーションを実施する。

事業目的

- ① チームのファン・選手・スタッフ・チーム関係者の、市内での消費行動を高める
→飲食店等を中心とした市内事業者のプロモーションを図る
- ② 市内事業者に経済効果を波及させる取り組みの実施



阪神タイガースを活用したプロモーションで実現

- ① 高い認知度(県内、県外)と強い影響力(WEB等の自社メディア、在阪メディアの報道)
→年間を通じた、様々な切り口でのメディア露出・プロモーションが可能
- ② 中長期でのプロモーション計画策定が可能（**今後8年間キャンプ実施が確定**）
→継続性と計画的な施策実施。受入側の段階的な機運醸成も可能
- ③ 他の来うまチームと比較して、圧倒的なファンの市場規模の大きさ
→経済効果の広がりや波及効果が生まれやすい素地

第一章（３）事業計画概要

実施概要

（１）スポーツ合宿等の誘致

将来の具志川総合体育館建設および与那城陸上競技場改修後のスポーツチーム合宿誘致を見据えて、今年度の誘致活動を展開する。現在、合宿に使用できる運動施設は、空調不備や老朽化、トラック未舗装など屋内・屋外施設ともに様々な制約がある。新施設の完成後に多くのスポーツ合宿を誘致するためには、合宿定着ができる見込みがある競技を、制約のある現施設を活用しながら、段階的に誘致していく必要がある。

これらの制約条件や宿泊受入ホテルの条件を組み合わせ、屋内・屋外競技の中から誘致ターゲットとなる競技を選び、誘致を行う。

屋内競技は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンをターゲット競技として選定。優先して誘致活動を進める。現状では、プロチームの合宿に耐えられる十分な設備の体育館がないことから、大学など競技レベルが下のカテゴリーのチームを誘致することで、総合体育館の完成を見据えて受入ノウハウの蓄積や関係構築などを行う。一方、屋外競技は、体育施設を使わずにうるま市の持つ地理的特性を存分に活かすことのできる、陸上競技を誘致する。

令和6年度の当事業での誘致活動件数は3件以上、新規受け入れ目標件数は1件以上とし、全体での受入件数目標は、10件とする。

（２）プロスポーツチームや市内事業者と連携した周遊促進業務

チームのファン・選手・スタッフ・チーム関係者の市内での消費行動を高めるため、市内事業者のプロモーションを図る。また、市内事業者に経済効果を波及させる取り組みを実施する。

昨年のスタンプラリー実施結果と分析により、具志川野球場と市内特定の通り会1ヶ所の合計2ヶ所に集中してファンの周遊を実現させる。通り会を「タイガース商店街」とし、来訪者がエリア内をくまなく回遊できる仕組みを作る。装飾やスタンプラリー、消費行動を促す仕組みをつくり、ファンが喜んで訪れる雰囲気を作る。

また、具志川野球場周辺でも、会場装飾やスタンプラリーポイント、球場周辺案内の設置などキャンプ見学者が球場で楽しむだけでなく、商店街への周遊のきっかけとなるような施策を実施する

更には、周遊を促す冊子やWEBサイトを制作し、商店街への送客を後押しする。

今年度は、このようにエリアを狭く深く絞り込んだ施策で経済効果を生み出す。

2025年度の周遊促進施策

① “狭く、深く、回遊させる”施策

ファンに「行きたい」と思わせる場所を1ヶ所つくり、そのエリアに様々な施策を集約。エリア内を回遊させて、消費行動につなげる

② 球場での消費行動をアップさせる施策

ファンの目的は、球場での練習。一番長く滞在する球場での消費行動を高める

ファンが、①回遊場所と②球場とを移動する事で周遊を実現させる

第一章（３）事業計画概要

実施概要

（３）歓迎セレモニー

歓迎の機運醸成のために、セレモニーを実施する。昨年度の実施内容を踏襲しながらも、よりPR効果が上がる方法を探る。そのほか市民の受入機運醸成のために、うるま市庁舎での装飾を実施。役場を訪れる市民が楽しめるような大胆な装飾やディスプレイを行う。さらには具志川野球場でも来場者が楽しめる雰囲気作りを目指して、効果的な装飾を計画する。

（４）協議会の開催・運営

昨年度の協議会での課題は以下2点であった。

- 1、市内の事業者（プレイヤー）との意見交換や情報共有の機会が少ない
 - 2、会議であがった様々な意見を具体的な計画に落とし込み、次年度以降に活かす仕組みとなっていない
- これらの課題を踏まえて、今年度はコミュニティの巻き込みを意識した協議会運営を目指す。事業者との意見交換や、事務局が中心となつての次年度以降の方針となる計画案の作成を目指す。

（５）スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出

スポーツチーム・団体アンケート、選手・関係者等の個人消費アンケート、及びヒヤリング調査を実施する。また、周遊促進業務の効果を測定するために、キャンプ見学のためにうるま市を訪れた来訪者へのアンケート等を通して、経済効果や交流人口を算出する。

昨年度課題であった来訪者アンケート回答率向上のため、スタンプラリーとの連携や、オリジナルノベルティ配布など、回答へのモチベーションを上げる施策を行う。

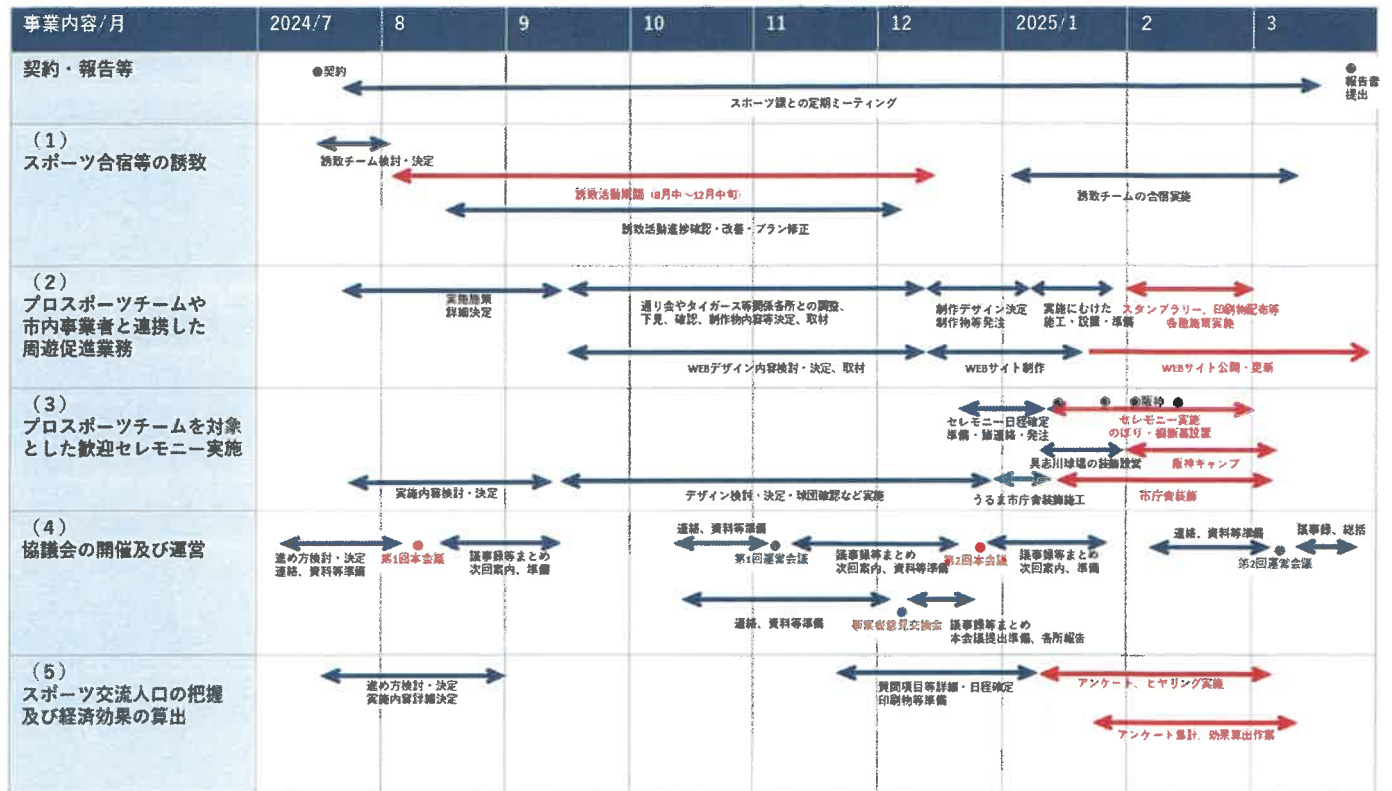
第一章（４）事業実施体制

昨年度同事業を実施した沖縄スポーツ関連産業協会が主体となり、昨年度WEBサイト制作を手掛けたダーウィンや、アンケートやヒヤリング調査を専門で実施しているメディアフラッグ等を主な外注先とする。また、今年度のうるま市キャンプが決定している阪神タイガースと栃木SC、うるま市諸団体や事業者、沖縄県やスポーツコミッション、県内スポーツチームなどとも密な連携を図りながら、事業を円滑に推進する。



第一章（５）事業実施スケジュール

以下のスケジュールに則り、うるま市や各連携組織、外注先と連携しながら遅滞なく事業を推進する。



第二章（１）スポーツ合宿等の 誘致

第二章（１）スポーツ合宿等の誘致

①概要

経済的効果・社会的効果を生み出すため、プロスポーツチームをはじめとした実業団チーム等のキャンプ・合宿を「うるま市スポーツ・キャンプ合宿受入方針」を基に、誘致活動及びヒアリングを実施した。

実施に当たっては、誘致対象のカテゴリーと期待される効果（経済面・社会面）それぞれの特徴を整理し、仮説を立てながら誘致戦略の検討および策定を行った。

1、うるま市スポーツキャンプ・合宿受入方針と条件の整理

- 宿泊は市内宿泊施設を利用すること
- 食事は市内飲食店を利用すること（ケータリングも含む）
- ユニフォーム等の選択を依頼する際は、市内のクリーニング店を利用すること
- 市内において移動手段を必要とする際は、市内のバス・タクシー会社等を利用すること
- 建設を進めている具志川総合体育館（以下、「アリーナ」という。）及び改修を行なった与那城陸上競技場の利用の推進

うるま市の現在の資源（アリーナを含む）を活用できる条件に沿った、段階的且つ継続的な実施によるスポーツ合宿等の定着化が必要。

2、誘致カテゴリー及び期待される効果の整理

生まれる効果

	プロスポーツチーム (プロ野球・Jリーグ)		その他のスポーツチーム (実業団・アマチュア・大学生など)	
経済面	+	・チーム消費額が大きい ・ファン消費額が大きい	+	・通年で受入が可能
	—	・期間が限定的(1～3月)で ・受入可能数が少ない	—	・チーム消費額が少ない ・ファン消費が見込めない
社会面	+	・県外メディア露出可能 ・受入自治体の認知向上に寄与	+	・チームの柔軟な対応
	—	・チームの制約が多い	—	・メディア露出が少ない

第二章（１）スポーツ合宿等の誘致

3、対象カテゴリーの選定

プロスポーツチーム (プロ野球・Jリーグ)



- ・すでに毎年の受入を実施している
- ・そのため現時点では、新規チームの獲得ではなく、経済的・社会的な効果を最大限に生み出す施策展開を優先することが効果的

その他のスポーツチーム (実業団・アマチュア・大学生など)



- ・将来、プロチームも含めたスポーツ合宿等の定着を図るため、対象競技・種目の特性やスポーツ合宿等をするための条件整理を行い、受入に必要なノウハウの蓄積や各種整備を進めることが可能。

上記の分析をうけて、プロスポーツではなく、その他のスポーツチームを対象に合宿誘致活動を行う。

4、対象種目の選定

現状の施設状況・条件（制限）

（１）屋内施設

①石川体育館

- ✓ 空調の整備不足

②具志川体育館（令和10年にアリーナとして完成予定）

- ✓ 空調の整備不足
- ✓ 老朽化の進み

（２）屋外施設

①具志川（球場・多目的グラウンド）

- ✓ プロスポーツチームの受入があるため、1月～3月の期間の利用は厳しい傾向あり

②与那城陸上競技場

- ✓ トラック未舗装
- ✓ 令和6年度に改修終えたばかりであり、使用の適性検証未実施

これらの屋内および屋外施設の現状や利用に関する制約条件を鑑みて、下記にて今年度の誘致方針を定めた。

- ・ 屋内施設を使用する屋内競技の誘致実績を高めること、かつアリーナ完成後の誘致・スポーツ合宿等の定着にスムーズにつなげるため、屋内競技の種目を軸に進める。
- ・ リーグを有するバドミントン、バレーボール、バスケットボールのターゲット軸に置きながら、大学や実業団チームから段階的な誘致活動を行う。
- ・ 沖縄県の特徴でもある温暖な気候を活かし、野球・Jリーグ以外での冬期における屋外競技の誘致を広げるため、陸上競技場等の活用に向けた誘致検討を行う。

第二章（１）スポーツ合宿等の誘致

②実施内容

■合宿誘致

策定した誘致戦略にもとづいて、ターゲットとするチームや団体に合宿誘致を行った。その際に、団体が合宿実施に求める条件等のヒヤリングも実施した。以下が誘致を実施した団体の一覧である。

誘致アプローチ先と希望条件一覧

No	属性1	属性2	団体名	種目	予算	施設	備考
1	国内	プロ	阪神タイガース（ファーム）	硬式野球	—	—	継続実施
2	国内	学生団体	高校交流野球	硬式野球	—	—	継続実施 交流野球（大会）あり
3	国内	プロ	栃木SC	サッカー	—	—	R6年度実施確定
4	国内	学生団体	神奈川大学	サッカー	△	○	新規
5	国内	実業団	NTN株式会社 陸上競技部	陸上競技	△	—	継続実施 補助があることでOK
6	国内	実業団	コニカミノルタ（男子実業団）	陸上競技	△	—	予算面に懸念あり 時期と宿泊施設の課題
7	国内	実業団	しまむら（女子実業団）	陸上競技	△	—	予算面に懸念あり 時期と宿泊施設の課題
8	国内	実業団	DeNA（ランニングアカデミー）	陸上競技	△	—	予算面に懸念あり 時期と宿泊施設の課題
9	国内	実業団	エディオン（女子実業団）	陸上競技	△	—	予算面に懸念あり 時期と宿泊施設の課題
10	国内	実業団	ヤマダ電機	陸上競技	△	—	予算面に懸念あり 時期と宿泊施設の課題
11	国内	実業団	富士通	陸上競技	△	—	予算面に懸念あり 時期と宿泊施設の課題
12	国内	実業団	岩谷産業	陸上競技	△	—	予算面に懸念あり 時期と宿泊施設の課題
13	国内	社会人	北海道コンサドーレ札幌バドミントンチーム	バドミントン	△	○	R6年度継続実施 補助があることでOK
14	国内	社会人	トリッキーパンダース	バドミントン	△	○	予算面に懸念あり
15	国内	社会人	ヨネックス（女子）	バドミントン	×	△	予算に課題あり
16	国内	社会人	JR北海道	バドミントン	×	○	予算に課題あり

予算 ○：問題なし △：補助等があると尚良い ×：条件合わず —：継続実施/特になし（その他）
 施設 ○：問題なし △：改善希望あり ×：条件合わず —：継続実施/特になし（その他）

第二章（１）スポーツ合宿等の誘致

■合宿誘致

全体・共通

実業団では、行政などからの補助金等の一部合宿予算に対するサポートがあれば、合宿実施に対して前向きに検討を進める団体が多い傾向にあった。逆に、合宿にかかる費用（宿泊・移動手段・施設料など）を全額自費にて賄う場合には合宿実施自体が困難な傾向にあり、予算補助を希望する団体が多かった。また、合宿時期によっては宿泊費の高騰や条件に合う宿泊施設の予約が取れず、割高となる施設を選択せざるを得ない状況などが、合宿実施への予算面での懸念や課題につながる結果となった。

競技別（サッカー）

今回、新規で合宿を実施した神奈川大学は、「ハマチュー（以下、「HAMACHU」という。）」を宿泊先とした。誘致の合宿宿泊先をHAMACHUとすることは初めての試みであったが、大学サッカー部の合宿で期待するものとして「地域交流」を軸にしていたこともあり、廃校を利用したコミュニティ施設HAMACHUでの合宿滞在は地域交流を展開するには有効であった。



競技別（陸上競技）

今年度は、昨年度から継続して合宿を実施したNTN陸上競技部の合宿時期と与那城陸上競技場の改修完了のタイミングが異なったため、競技場トラックの使用感の検証は実施できなかった。今年度も昨年度同様に、洲崎工業地帯の外周コースをメインに強化練習を実施。こちらのコースは好評であった。

陸上競技チームが、競技場使用で重要視される点としては「タータン」の劣化がない点であった。クッション性や滑りにくさなど、性能が維持されていることが施設使用の条件では重要となってくる。その点、与那城陸上競技場はトラック改修直後であり、誘致において長所になる。

また次年度以降は、NTN陸上競技部をはじめ、他実業団に向けた与那城競技場の活用検討や海中道路や公道コース（海中道路等）の視察や検証が行えるモニターツアーや視察を事前に実施できると確度の高い誘致及び合宿地の定着化につなげることができる可能性があるとする考える。

競技別（バドミントン）

今回は、北海道コンサドーレが昨年度から継続して合宿を実施した。その他、S/Jリーグに所属するチームへのヒアリング及び誘致活動を行った。ヒアリングしたチームからは、予算補助があることが望ましいとの意見が多くでた。その他にも、元々の合宿予算の確保ができず、拠点地以外での合宿が実施できる状況でないとの意見も多くみられた。バドミントンは、補助予算ありきでの合宿が基本となっている。一方、バドミントン種目においては県内チーム琉球ブルファイツが主催する「琉球クラブカップ」の大会があることに絡めて、県内誘致ができる可能性は他競技に比べてチャンスは高い状況にある。そのため、大会参加に付随した地域交流やリーグチームとの合同練習などプラスアルファのコンテンツ創出によるアプローチは効果的になると考える。

第二章（１）スポーツ合宿等の誘致

■宇都宮市(栃木県)との連携可能性調査

うるま市では、栃木県宇都宮市と令和6年8月3日に友好都市提携を行い、経済交流をはじめ、市民同士の交流を見据えた上での地域力の向上などが図られることが期待されている。

本提携を契機に、キャンプ・合宿をきっかけとした地域間交流、スポーツチーム・団体を活用したシティプロモーション、子どもスポーツ交流大会＋異文化体験プロジェクト、スポーツ×農業連携、等々の「スポーツを活用した関係人口創出」を宇都宮市及び栃木県スポーツコミッションと連携して実施する可能性を探るため、令和6年12月に栃木県において誘致活動やヒアリングを以下のとおり行った。

競技

#	団体・チーム	対象競技	内容
1	作新学院大学	バドミントン 陸上競技	- 大学部活としては一部の部活動以外は単独で継続して合宿をするためには予算面が厳しい - 大学として授業やゼミ合宿で連携できる可能性は検討できる（大学×うるま市 連携の可能性）
2	宇都宮ブリッツェン	自転車競技	- コロナ禍以降は合宿を行っていない（現時点では合宿実施の可能性は高くない） - 地域連携の観点ではジャパンカップ（宇都宮）やうるま市イベント等での連携はあり得る
3	栃木プロレス	プロレス	- 自費での合宿等は行っていない - 教育的なコンテンツ（いじめ撲滅等）として活用することは可能では
4	栃木SC	サッカー	※ 実施確定済み
5	レーヴィス栃木	バレーボール（男子）	- 今後合宿・キャンプを実施する可能性はある（現在はホームタウンで充足している） - 複数のSVリーグチームでエキシビジョン（大会）などを開催し収益性を生み出せば可能性はある

行政

1	栃木県（スポーツ振興課）	- スポーツコミッションを立ち上げ今後はより充実した取り組みを実施していきたい - 特に海外からの誘客に関心が高いため、引き続き連携を図っていきたい
2	宇都宮市（スポーツ都市推進課）	- プロスポーツチームを活用した地域PRについては、チームとの連携を強化する必要あり - OKINAWA INTERNATIONAL CHAMPURU CUP の両市開催の検討

第二章（１）スポーツ合宿等の誘致

■令和6年度 キャンプ・合宿受入一覧（令和7年3月14日）

今年度の誘致結果については、全16件であった。受け入れを行ったチームは下記一覧のとおりである。

No	属性1	属性2	団体名+種目	主な実施場所	開催期間	宿泊先（予定）
					入 - 出	
1	国内	プロ	阪神タイガース（2軍）【硬式野球】	具志川野球場、具志川ドーム	2025/02/01 - 2025/02/25	アンサリゾート
2	海外	プロ	SSGランダース【硬式野球】	具志川野球場、具志川ドーム	2025/02/27 - 2025/03/04	ココガーデンリゾート沖縄（スタッフ）
3	国内	学生団体	高校交流野球【硬式野球】	具志川野球場、具志川ドーム	2025/3/6 - 2025/3/31	春日観光ホテル
4	海外	プロ	SAMSUNG LIONS（2軍）【硬式野球】	石川野球場、石川サブ	2025/02/01 - 2025/02/21	ココガーデンリゾート沖縄
5	海外	プロ	ktwiz【硬式野球】	石川野球場、石川サブ	2025/02/26 - 2025/03/06	アンサリゾート（スタッフ）
6	国内	学生団体	名古屋経済大学【硬式野球】	石川野球場、石川サブ	2025/03/07 - 2025/03/15	アンサリゾート
7	国内	プロ	起亜タイガース（自主トレ）【硬式野球】	石川野球場	2025/01/10 - 2025/01/20	市外宿泊
8	国内	プロ	起亜タイガース【硬式野球】	石川野球場	2025/02/21 - 2025/02/23	市外宿泊
9	国内	プロ	オリックス（自主トレ）【硬式野球】	具志川野球場、（具志川ドーム）	2025/01/07 - 2025/01/26	市外宿泊
10	国内	プロ	阪神・中日（自主トレ）【硬式野球】	具志川野球場、具志川ドーム	2025/01/11 - 2025/01/17	市外宿泊
11	国内	プロ	楽天（自主トレ）【硬式野球】	石川野球場、石川サブ	2025/01/07 - 2025/01/21	市外宿泊
12	国内	プロ	栃木SC【サッカー】	具志川多様目	2025/01/14 - 2025/01/26	アンサリゾート（～1/20）
13	国内	学生団体	鹿児島大学【サッカー】	具志川多様目	2025/01/18 と 2025/01/20	市外宿泊
14	国内	学生団体	神奈川大学【サッカー】	具志川多様目	2025/02/03 - 2025/02/19	浜中（HAMACHU）
15	国内	実業団	NTN株式会社 陸上競技部【陸上競技】	海中道路、洲崎工業地帯、他	2025/01/27 - 2025/02/07	春日観光ホテル
16	国内	社会人	北海道コンサドーレ【バドミントン】	石川体育館	2025/03/06 - 2025/03/10	春日観光ホテル

●プロチーム：10件 ●実業団（社会人）：2件 ●学生団体：4件

●屋外：15件（硬式野球：11件、サッカー：3件、陸上競技：1件）

●屋内競技：1件（バドミントン：1件）

第三章

プロスポーツチームや市内事業者 と連携した周遊促進業務

第三章（１）「阪神タイガース・うる虎商店街」

①概要

うるま市石川地区の事業者商店街組合である「みほそあきない組合」に協力を仰ぎ、阪神タイガースうるまキャンプ期間中に「石川うる虎商店街」として県道255号線の両側にオリジナルのぼり掲出や、造作物の設置を行った。

石川地域は、阪神タイガースが1軍キャンプを行う宜野座村とうるま市具志川球場の中間に位置し両地を行き来するファンが車にて数多く通過する場所である。このポイントに集中して目を引く掲示物や、車を停めて写真撮影をしたくなるような装飾を実施する事で、機運醸成やキャンプ盛り上げ、スタンプラリー等での回遊施策の起点となることを目的とした。

②実施内容

■オリジナルのぼり掲出

内容	：「うる虎商店街」オリジナルのぼりを石川地域に掲出
場所	：うるま市内石川地域 県道255号線（白浜1丁目～白浜2丁目北交差点付近の歩道両側）
設置期間	：2025年2月1日（土）～25日（火）
設置数	：約130本
のぼりサイズ	：タテ1800mm×ヨコ600mm



のぼりデザイン



おもな掲出エリア（県道255号線両側）



のぼり掲出の様子

第三章（１）「阪神タイガース・うる虎商店街」

■大型造作物の設置

内容	: 石川地域中心に、目を引く告知及びフォトスポットとなる造作物を設置 巨大絵馬はスタンプラリー景品と同デザインとし、市長や役場職員が記入した絵馬を周辺に掲出。 フォトスポットにはスタンプラリーのQRコードを掲載し、施策を連動させた。
場所	: うるま市内石川地域 白浜1丁目交差点付近 うるま市大型ビジョン敷地
設置物	: ①キャンプ告知バナー ②必勝祈願巨大絵馬 ③スポーツ新聞風新人選手紹介顔出し大型パネル
設置期間	: 2025年2月1日（土）～25日（火）



大型造作物設置位置



大型造作物設置の様子

1) キャンプ告知バナー

サイズ：W3290mm×H1855mm

設置方法：大型ビジョン支柱にロープで固定



バナーのデザイン



バナー設置の様子

第三章（１）「阪神タイガース・うる虎商店街」

■大型造作物の設置

2) 必勝祈願巨大絵馬

サイズ：W2000mm×H2000mm

設置方法：地面に直接設置(土嚢で固定)



巨大絵馬のデザイン



絵馬の両側に市長や市職員の直筆メッセージ入り絵馬を掲出

3) スポーツ新聞風新人選手紹介顔出し大型パネル

サイズ：W2000mm×H2000mm

設置方法：地面に直接設置(土嚢で固定)



スタンプラリー用QRコードを掲出

第三章（２）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

①概要

県内外のデジタルスタンプラリーにおいて多数の利用実績があるシステム「プラチナラリー」を活用し、市内の周遊促進および消費行動を高めるスタンプラリーを実施した。令和5年度実施のうるま市内全域の周遊を目的としたスタンプラリーから抽出された「周遊範囲が広すぎるためキャンプ見学を主目的とする参加者がスタンプ設置場所を周る時間がない」という課題を踏まえて、周遊エリアを具志川球場と石川地域周辺に絞って設定をした。

石川地域ではみほそあきない組合と石川社交飲食業組合の協力を得て、加盟事業者27店舗にデジタルスタンプを設置した。スタンプラリーは、対象スポットに設置の「QRコード」を読み取ることで、デジタルスタンプを獲得できる仕組みで、当システムを利用して、「スポーツ交流人口の把握及び経済効果の算出」するためのアンケートも実施。アンケート回答をスタンプラリー参加条件とし、もれなく全員にオリジナルステッカーをプレゼントした。

また、具志川野球場1ヶ所と石川地域の2ヶ所の計3ヶ所に無料でスタンプ取得ができる場所を設置。スタンプを3つ獲得すると抽選で「オリジナルデザイングッズ」が、スタンプを5つ以上獲得すると抽選で「阪神タイガース選手直筆サイン入りグッズ」などが当たる。スタンプを5つ獲得するためには、デジタルスタンプ設置事業者の店舗での購買や飲食が必須であることから、ファンの消費行動が高まる仕掛けとした。

②実施内容

スタンプラリー名	: 阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー
実施期間	: 2024年2月1日（木）～2月25日（水）
形式	: 手持ちのスマートフォンを使い、対象スタンプスポットに設置されている「QRコード」を読み取ることで、デジタルスタンプを獲得
ルール	: スタンプ1個で参加賞を全員にプレゼント。スタンプ3個でオリジナルグッズ、5個でサイン入りグッズが当たる抽選に参加、当選者にプレゼント（抽選はサイト内にて完結、引き換えは具志川球場内特設カウンター）
・スポット数	: 30箇所（内、無料スポット：具志川野球場1ヶ所、石川地域2ヶ所、石川地域事業者27ヶ所）
賞品引換場所	: 具志川球場場外に特設カウンター設置にて対応



第三章（2）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

■賞品一覧

●参加賞※全員に配布



○ステッカー 3,000枚

●スタンプ3個抽選賞品（スタンプラリー限定デザイン）



○キーホルダー 150個



○お守り 100個



○絵馬 50枚



○サコッシュ20枚



○サーモスボトル5本

●スタンプ5個抽選賞品（グッズは球団から購入）



○選手サイン入タオル 4枚



○選手サイン入トート 3枚



○うるま市ジャンパー 2枚



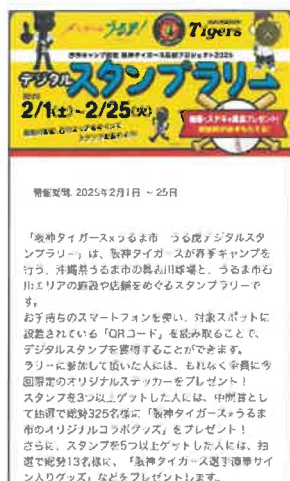
○選手サイン入キャップ 2枚



○選手サイン入Tシャツ 2枚

第三章（2）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

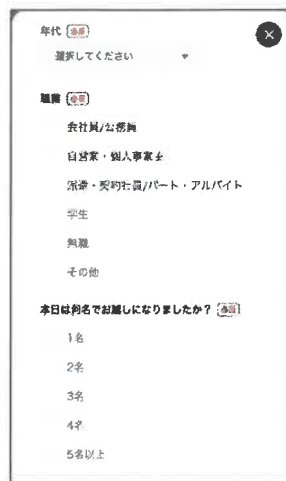
■スタンプラリー画面



ホーム画面



アンケート画面



アンケート画面



ラリー用地図画面



スタンプ台紙



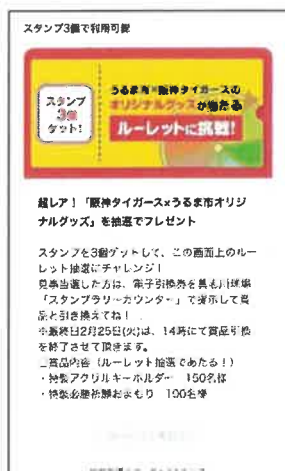
参加店舗一覧画面



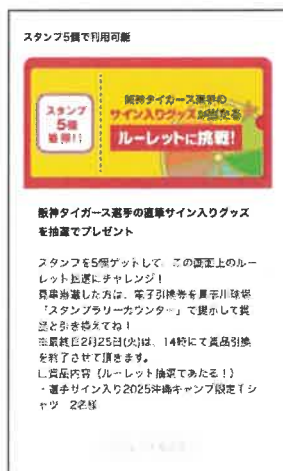
スタンプ場所詳細



賞品紹介



スタンプ3個抽選画面



スタンプ5個抽選画面



抽選ルーレット画面

第三章（２）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

■無料スタンプスポット3ヶ所

1) 具志川球場スタンプラリーカウンター

設置場所：バックネットスタンド場外に机とイスでカウンターを設置

設置方法：壁面にQRコードのポスター掲出・・・3枚、パネル掲出・・・2枚

※賞品引換所・アンケート記入・ラリーのインフォメーションカウンターを兼ねる



掲出ポスターデザイン

2) 石川地区・石川出張所スタンプスポット

設置場所：うるま市石川出張所正面入口（旧石川市役所庁舎）

設置方法：B2QRポスター掲出・・・3枚



掲出ポスターデザイン

3) 石川地区・大型ビジョンスタンプスポット

設置場所：うるま市石川 白浜1丁目交差点大型ビジョン 選手パネル造作物内

設置方法：QRコードをパネルデザインに入れ込み



第三章（２）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

■店舗スタンプスポット 27ヶ所

設置場所：みほそあきない組合加盟店、石川社交飲食組合加盟店 の参加希望店舗27ヶ所

設置方法：スタンプQRコードが印刷されたA4ポスターを店舗内に掲出

その他：参加店専用のオリジナルのぼりを店舗前に掲出、参加店ステッカーを店頭に掲出し



のぼり・ステッカーデザイン



掲出の様子



店内用A4ポスター



居酒屋ハイチョウ



酒楽場 うまし家



照屋勝武三線店



酒処 金の蔵



くつろぎ居酒屋 翔



海猿



バーラー putera



丸政精肉店



やぎとそば 太陽



ネームボエム&ギフト Nai'a



BAR EDEN



BAR futaba

第三章 (2) 阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

■店舗スタンプスポット27ヶ所

寿司MUSASHI



伊波商店



諸国酒飯処 玄



一丁目酒場 ぐらっちえ



ダイニング34



ビリヤード&ダーツ GRACE



Club Shelly



なか慶



居酒屋 海人



Public Bar Sunrise



Karaoke bar La naige (ラ・ネージュ)



居酒屋 オーギシ



浜焼 里兵衛



BAR HOI HOI



焼肉 純純



第三章（２）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

■スタンプラリー参加状況結果(2月1日～25日)

●参加数：3,732人（スタンプラリーWEBページにアクセス人数：4,440人）

●総スタンプ取得数：4,130件

1) 場所別スタンプ取得件数

No	スポット	件数
1	具志川野球場スタンプスポット(無料)	3,065
2	うるま市石川出張所スタンプスポット(無料)	410
3	うるま市石川 大型ビジョンスタンプスポット(無料)	383
4	生マクロ井専門店 海猿	46
5	伊波商店	46
6	やぎとそば 太陽	29
7	丸政精肉店	25
8	ネームポエム&ギフト Nai'a	19
9	酒楽場 うまし家	13
10	照屋勝武三線店	13
11	1丁目酒場 ぐらっちえ	10
12	なか屋	10
13	焼肉 純純	10
14	パーラー Putera	8
15	寿司MUSASHI	5
16	居酒屋 海人	5
17	浜焼 里兵衛	5
18	諸国酒飯処 玄	4
19	ビリヤード&ダーツ GRACE	4
20	BAR HOIHOI	4
21	くつろぎ居酒屋 翔	3
22	ダイニング34	3
23	居酒屋 オーギシ	3
24	居酒屋ハイチョウ	2
25	Karaoke bar La naige	2
26	BAR EDEN	1
27	BAR Futaba	1
28	Club Shelly	1
29	酒処 金の蔵	0
30	Public bar Sunrise	0

第三章（２）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

■スタンプラリー参加状況結果(2月1日～25日)

2) 回数別人数

スタンプ回数	人数	構成比
0	520	13.7%
1	2822	74.6%
2	47	1.2%
3	254	6.7%
4	15	0.4%
5	64	1.7%
6	2	0.1%
7	6	0.2%
9	2	0.1%

3) 商品別引換数

参加賞(アンケート回答で授与)

賞品	準備数	引き換え数
オリジナルステッカー	3,000	3,000

スタンプ3個収集で抽選の当選者（抽選参加:343人）

賞品	当選数	引き換え数
サーモスポトル	5	3
サコッシュ	20	16
絵馬	50	45
お守り	100	84
アクリルキーホルダー	150	140

スタンプ5個収集で抽選の当選者（抽選参加:74人）

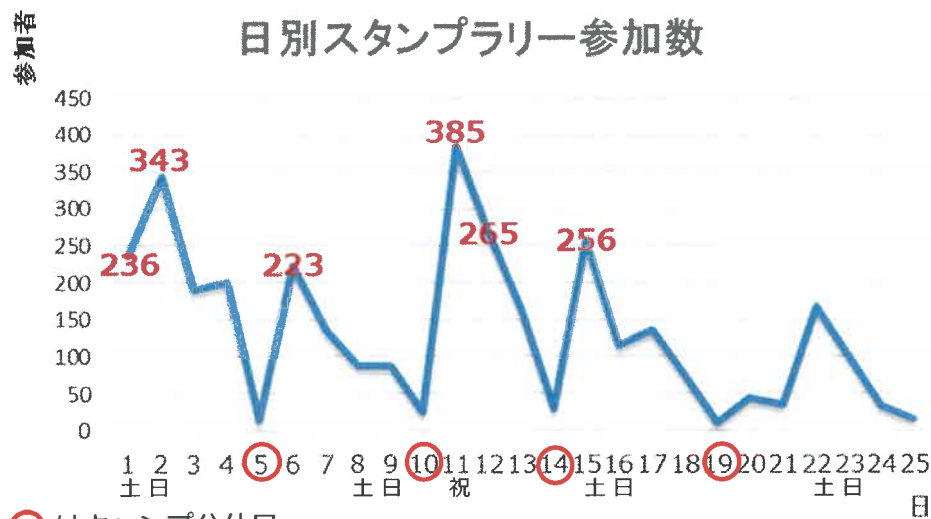
賞品	当選数	引き換え数
サイン入りTシャツ	2	2
サイン入りキャップ	2	2
スタッフジャンパー	2	2
サイン入りトートバック	3	3
サイン入りタオル	3	3

第三章（２）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

③スタンプラリーのアンケート結果及び動向調査

■参加者数について

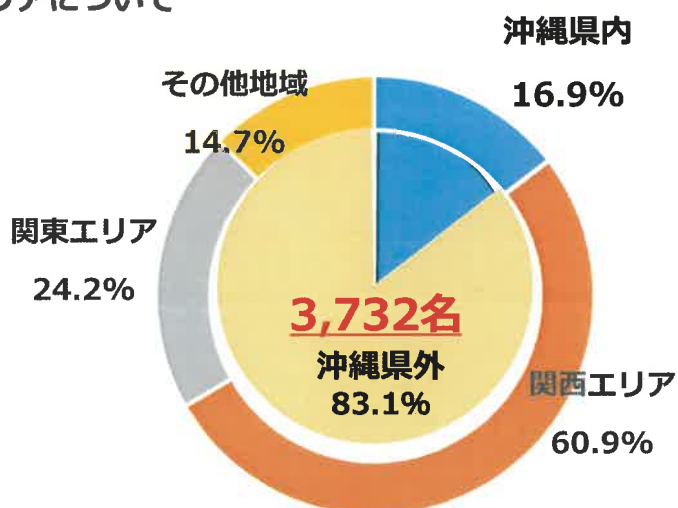
参加数 **3,732名**



スタンプラリーの参加者は3,732人であった。もっとも参加者が多かったのは、2月11日(火・祝)で385人であった。また、土曜日と日曜日に参加が増える傾向がみられた。今年は、2月1日のキャンプ初日が土曜日だったこともあり、キャンプ開始日から多くの参加がみられた。

2月8日と9日は土曜日と日曜日であったが、ここだけ参加者が両日とも87名と少なかった。これは同日に宜野座1軍キャンプで今季初の紅白戦が実施されたため、多くの見学者が宜野座に行っていた可能性が考えられる。

■参加者の居住エリアについて



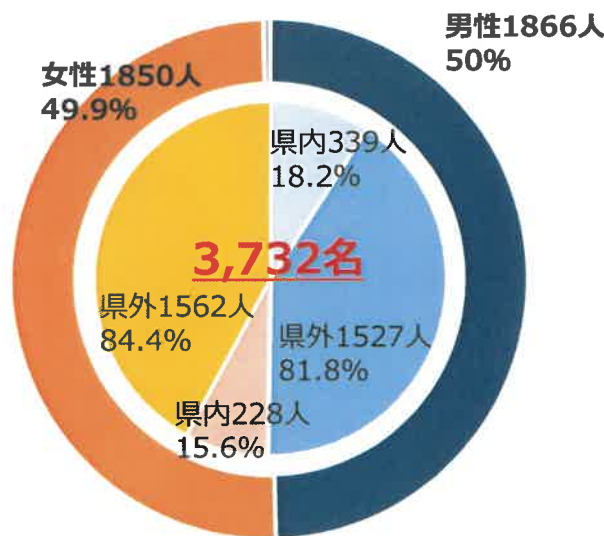
県内、県外居住者の参加は、県外からの参加率が83%と大部分を占めた。

また、県外に住む参加者の60%が阪神タイガースの活動拠点とする、関西エリアからの来訪者であった。

第三章（2）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

■参加者の性別について

性別比 **50 : 50**



性別比は若干女性が多いものの、ほぼ50:50の結果となった。

詳細をみると、県内では参加性別は男性の方が100名ほど多かったが、県外では女性の参加者が35名 多いという結果であった。女性・男性ともに、 県内：県外比率が1:4と、ほぼ同じ比率になっている。

■スタンプスポット間の移動上位20位

順位	移動元スポット	次に移動したスポット	移動回数
1	石川出張所	石川・大型ビジョン広場	239
2	具志川野球場	石川出張所	187
3	石川・大型ビジョン広場	石川出張所	87
4	具志川野球場	石川・大型ビジョン広場	58
5	石川・大型ビジョン広場	具志川野球場	51
6	石川出張所	具志川野球場	31
7	石川・大型ビジョン広場	伊波商店	19
8	石川・大型ビジョン広場	丸政精肉店	13
9	石川・大型ビジョン広場	生マグロ丼専門店 海猿	11
10	生マグロ丼専門店 海猿	石川・大型ビジョン広場	7
11	伊波商店	石川出張所	6
12	やぎとそば 太陽	石川・大型ビジョン広場	6
13	石川・大型ビジョン広場	ネームボエム&ギフト Nai'a	6
14	伊波商店	ネームボエム&ギフト Nai'a	6
15	具志川野球場	生マグロ丼専門店 海猿	5
16	やぎとそば 太陽	生マグロ丼専門店 海猿	5
17	石川出張所	ネームボエム&ギフト Nai'a	5
18	具志川野球場	伊波商店	5
19	生マグロ丼専門店 海猿	やぎとそば 太陽	5
20	具志川野球場	やぎとそば 太陽	5

第三章（２）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

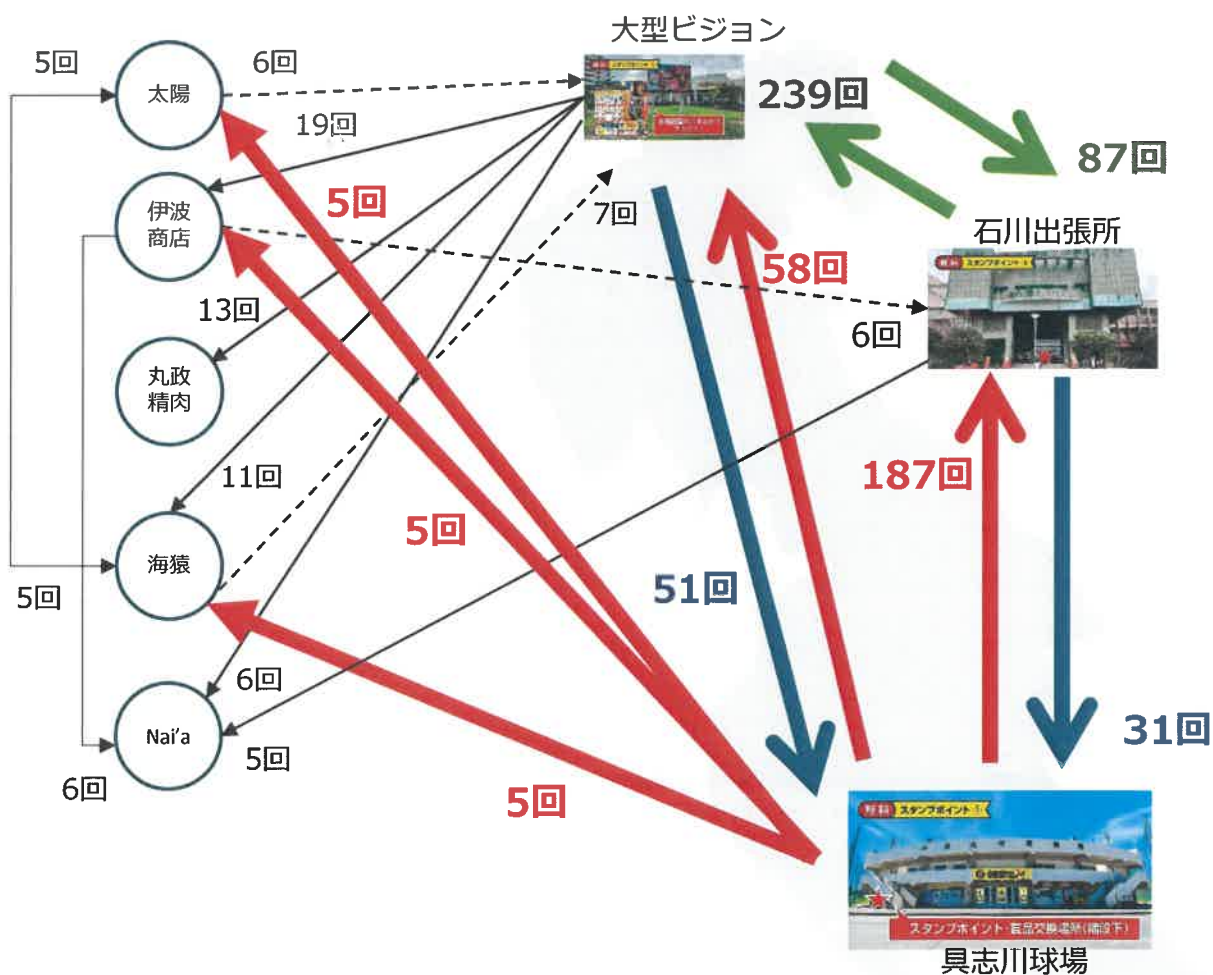
■スタンプスポット間の移動上位20(つづき)

スポット間移動のうち上位6位までが、具志川球場、石川出張所、大型ビジョン広場の無料スタンプスポット3ヶ所での移動が占めている。

石川エリア域内での無料スポット内移動、エリア内回遊が最多(239回)であった。具志川球場から石川エリアへの移動も2位(石川出張所へ移動・187回)と4位(大型ビジョンへ移動・58回)で合計245回、その逆の石川エリアから具志川球場への移動は、5位(大型ビジョンから移動51回)と6位(石川出張所から移動31回)の合計81回で周遊をしていた。

また、無料スポットからは一部の飲食店（伊波商店、生マグロ丼専門店 海猿、丸政精肉店、やぎとそば太陽、Nai'a）への移動も観察される。これらの移動は7位以下を占めているため、無料スポットにてスタンプ押印をした後に、店舗に向かう参加者が多かったと考えられる。また、参加者が石川地域で移動している飲食店や店舗は昼間に営業している店舗であった。

スタンプスポット間の移動上位20の移動イメージ



第三章（２）阪神タイガース×うるま市 うる虎デジタルスタンプラリー

■スタンプラリーパンフレット作成

スタンプラリー参加方法や参加店舗の詳細情報などを掲載したA4見開きの2つ折りパンフレットを作成。各PR施策の情報も掲載し、うるまキャンプ情報の情報を集約した紙面構成とした。

具志川球場スタンプラリーカウンターや石川地域の参加店舗などで配布を行った。

- 配布枚数： 5000部
- 配布先：
- ・具志川スタンプラリーカウンター
 - ・石川エリアスタンプラリー参加店
 - ・宜野座道の駅
 - ・うるま市役所 など



表面と裏面



中面見開き

第四章

プロスポーツチームを対象とした 歓迎セレモニー

第四章（１）歓迎セレモニー

①概要

プロスポーツチーム歓迎の機運醸成及びメディア活用によるうるま市へのプロモーションを目的として、スポーツ合宿の受入に際し、歓迎セレモニーを実施する。

■実施日程・場所

栃木SC



日程：1月16日（木）
時間：9：15～9：30
場所：具志川多種目球技場

阪神タイガース



日程：2月1日（土）
時間：9：50～10：00
場所：具志川野球場

②実施内容

栃木SC

- 1) 横断幕の設置
・横断幕：2枚 ※既存のものを利用
- 2) 歓迎セレモニー



日程：1月16日（木）
時間：9：15～9：30
場所：具志川多種目球技場
参加者：うるま市 佐久川副市長、うるま市議会 比嘉議長、うるま市スポーツ課、うるま市観光物産協会、うるま市商工会、うるま市サッカー協会、うるマルシェ

贈呈品：うるま市（ぬちまーす塩黒糖）、うるま市商工会（うるま市特産品）、沖縄県（沖縄特産品）、うるま市物産観光協会（さんびん茶）、うるマルシェ（うるマルシェ商品券1万円）、花束

プログラム：①司会から挨拶
②歓迎の挨拶（副市長、議長）
③贈呈品・花束のお渡し
④チームから挨拶（栃木SC小林監督）
⑤栃木SCより記念球の贈呈
⑥記念撮影



第四章（１）歓迎セレモニー

■ 阪神タイガース

1) 横断幕の設置

- ・横断幕：1枚 ※新規製作



2) 歓迎セレモニー

日程： 2月1日（土） 時間：9：50～10：00 場所：具志川野球場

参加者： うるま市 中村市長、うるま市商工会、うるま市観光物産協会、

贈呈品： うるま市（ぬちまーす塩黒糖）、うるま市商工会（うるま市特産品セット）、
うるま市物産観光協会（さんぴん茶）、沖縄県（沖縄特産品詰め合わせ）、
アンサ沖縄リゾート（ビール）、フォーモストブルーシール（カップアイス詰合せ）、
花束、その他

プログラム： ①司会から挨拶
②歓迎の挨拶（市長）
③花束・贈答品のお渡し
④球団より挨拶（阪神平田監督）
⑤記念撮影



■ 横断幕の製作 ※製作のみ

■ 横断幕の納品（韓国・サムソンライオンズ）

納品日： 2024年1月

設置場所： 石川野球場

サイズ： H1000mm×W4500mm



第四章（１）歓迎セレモニー

③メディアやSNS・HPでの掲載

栃木SC

◆栃木SC WEBサイト



◆栃木SC 公式X



第四章（1）歓迎セレモニー

③メディアやSNS・HPでの掲載

阪神タイガース

◆デイリースポーツ



ホーム / 阪神タイガース / 具志川市熱い 平田2軍監督がセレモニーで「宜野座組に負けるわけがない」と宣言 練習前の訓示では「自分で自分の限界を作るな」と選手を鼓舞

2025.02.01

具志川も熱い 平田2軍監督がセレモニーで「宜野座組に負けるわけがない」と宣言 練習前の訓示では「自分で自分の限界を作るな」と選手を鼓舞

「阪神2軍春季キャンプ」（1日、具志川）

具志川球場でもキャンプインし、練習前にはセレモニーが行われた。



平田2軍監督はうま市の関係者、阪神ファンに感謝。「わざわざ具志川まで来て頂いて、手を振ってくれてね。僕のタオルもちゃんとかざしてくれてありがとうございます」。続けて「今、市長のご挨拶ありましたけど、もうやる気がにじみ出ますよ」と力を込めた。

ただ、ここで市長の言葉を一つ訂正。冒頭ではうま市の中村正人市長があいさつしていたが、その中で「2軍」という言葉があったことに反応した。今年の春季キャンプでは1、2軍ではなく、宜野座組、具志川組という言葉に統一している。

「まだ2軍じゃないですよ。具志川組と宜野座組ですから。見てください！こんな素晴らしい環境で25日間しっかりと練習しましたら、必ず宜野座組に負けるわけがない」と宣言した。

その後は各選手にも決意の言葉を求め、セレモニー後には選手を鼓舞して、「自分で自分の限界を作るな。チャレンジしていく。去年負けた悔しさを忘れられない。甲子園で日本一になろう。その気持ちを忘れずにもう一歩踏み込め。最後の一歩を妥協するな」と熱いエールを送った。

◆日刊スポーツ



【阪神】具志川キャンプもスタート「しっかり練習したら必ず宜野座組に負けるわけがない」平田2軍監督訓示

[2025年2月1日10時51分]



具志川キャンプのセレモニーであいさつする阪神平田2軍監督（前左・山本健太）



具志川球場で練習する2軍選手たち

阪神の2軍にあたる具志川キャンプが1日、沖縄県うるま市でスタートした。

平田勝男2軍監督（65）がセレモニーで明るく訓示。「やる気がね。にじみ出ますよ」と3年ぶりとなる2軍監督でのキャンプにやる気をみなぎらせた。さらに「こんな素晴らしい環境で25日間しっかりと練習しましたら、必ず宜野座組に負けるわけがない」と1軍相当の宜野座組に意気込みを伝えた。

あいさつの最後には「私が言ってもまだ物足りないと思います。せっかく糸原が野にいますので、選手を代表して、先週選手にも一言、決意をどしどしと伝えてやれ！」と具志川キャンプスタートの糸原隼斗内野手（32）にバトンタッチ。

むちゃぶりに糸原は力強く反応。「去年も僕はここでスタートしたんですけど、チームは偉い思いをしたので、今年は優勝、日本一、そしてここにいるメンバーで多く活躍して、強りたいと思います」と決意表明を行った。

◆サンスポ



広告掲載・お問い合わせ



トップ / スポーツ / 野球 / プロ野球 / 具志川でキャンプイン、阪神・平田2軍監督「宜野座組に負けるわけがない」

具志川でキャンプイン、阪神・平田2軍監督「宜野座組に負けるわけがない」

2025/02/01 10:15

プロ野球 / プロ野球チーム / 阪神タイガース



具志川球場で練習する2軍選手たち



具志川球場でキャンプインした阪神タイガース。平田2軍監督が選手たちを鼓舞する。背景には「宜野座組に負けるわけがない」というスローガンが掲げられている。

◆スポニチ



トップ / 野球

スポーツアナリティクス

阪神2軍もキャンプイン うま市長は“クセ強”熱烈エール“大、大、大歓迎！3年前はボンコツ球場…”

[2025年2月1日 10:06]



具志川球場で練習する2軍選手たち

阪神2軍が1日、うるま市の具志川球場でキャンプインした。

練習開始前にはセレモニーが行われ、中村正人市長が「クセ強」な言葉で熱烈歓迎。同市長は「大、大、大歓迎をいたします。ようこそうるま市へ！この球場、3年前はボンコツ球場でありましたが、阪神タイガースさん、阪神国芸さんのご尽力をいただいて毎年、毎年少しずつ綺麗に整備を行い今年はこの試合をできることになっていますので存分に頑張ってください！」などとエールを送った。

第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

①概要

キャンプ地としての機運醸成を図るため、阪神タイガースをプロモーションの中心に据えた。プロモーション全ての象徴となる、阪神タイガースうるま市キャンプを「うる虎キャンプ」と命名し、ロゴやキービジュアルを製作。具志川野球場とうるま市役所庁舎に装飾を実施した。また、キャンプ情報を「うる虎キャンプ公式WEBサイト」にて発信。球場および市内にて配布するパンフレットでの告知の他、キッチンカー出店による球場の充実化なども行った。

②実施内容

■「うる虎キャンプ」キービジュアル製作

全ての阪神キャンププロモーションにて活用できる「うる虎キャンプ」の名称策定と、共通して使えるキービジュアルを製作した。これらの活用を全施策のベースとした。



キービジュアルデザイン



キービジュアル展開例

■具志川野球場装飾

●ガードレール装飾（計３ヶ所）

サイズ： W53610mm×H770mm×３本

設置方法： ロープや結束バンドで固定



●のぼり

サイズ： W600mm×1800mm

設置方法： 結束バンドで固定



第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■ 具志川野球場装飾

● 球場入口横断幕

サイズ： W5360mm×H1250mm

設置方法： ロープや結束バンドで固定



● 球場入口扉ガラス

サイズ： サイズのよって異なる（画像記載サイズ参照）

設置方法： カッティングシート貼り付け



● FOODコーナー看板

サイズ： W910mm×H1820mm

設置方法： 看板をロープ・結束バンドなどで固定



第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■ 具志川野球場装飾

● 球場外設置 大型顔出しフォトパネル

サイズ： W2500mm×H2000mm

設置方法： 土裏で固定



● 球場内コンコース・階段壁面装飾 （六甲おろし歌詞など）

設置方法： カuttingシートで貼り付け



角階段サイド W2900mm



● 球場内踊り場装飾（スタンプラリー告知）

サイズ： w2720mm×H1800mm

設置方法： カuttingシートにて貼り付け



第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■ 具志川野球場装飾

● 球場内スタンド階段上部

サイズ： w2720mm×H1800mm

設置方法： カッティングシートにて貼り付け



● 球場内トイレサインージ

男女トイレ入口の表示として掲出

サイズ： w200mm×H200mm

設置方法： カッティングシートにて貼り付け



第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■ 具志川野球場でのキッチンカー出店によるフードコート運営

具志川球場への来場者の満足度向上のため、球場外の敷地にキッチンカーを出店し、フードコートを運営した。同スペースには購入者が飲食できるフリースペースを設置し、ゆったりと食事が楽しめる様に配慮した。キッチンカー斡旋や運営は、うるま市観光物産協会が実施した。

場 所：うるま市具志川ドーム駐車場

主 催：うるま市観光物産協会

出店数：キッチンカー：2～6 店舗舗程度

出店料：1,000 円～4,000/1 日（税込）※曜日・観光バス入庫等により変動

出店業者公募方法：Google フォームにて実施

出店業者数：21 店舗（開催期間中のべ 79 店舗）

出店業者内訳：うるま市事業者8

その他自治体事業者13

（沖縄市5、宜野湾市2、那覇市1、名護市1、嘉手納町1、西原町2、伊江村1）

出店業者一覧

	営業所名称	営業所所在地
1	OkiLani オキラニ	うるま市
2	ドコデモタコス	沖縄市
3	cafe RE9	沖縄市
4	まーさんドッグ	うるま市
5	ナーディーチ 株式会社	うるま市
6	car cafe いつものところ	うるま市
7	GOLD - GORILLA	沖縄市
8	HIGE'S	うるま市
9	Kitchen car kokokara.t	嘉手納町
10	NoBi	名護市
11	Tank	沖縄市
12	WISTERIA KITCHENS	宜野湾市
13	カリガリカレー おきなわ	那覇市

	営業所名称	営業所所在地
14	ことぶきクレープ	うるま市
15	じんべいや	伊江村
16	パナマ原人	うるま市
17	ハニーグリーク	西原町
18	自家焙煎 Café JIJI	西原町
19	汁物まある	うるま市
20	飯や	沖縄市
21	Kitchen まかない家	宜野湾市



第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■ 具志川野球場でのキッチンカー出店によるフードコート運営

● 売上(キャンプ期間中合計)

売上総計 : 3,435,051 円

来店者数 : 3,511 人

1 日平均売上 : 3,435,051 円/20 日 = 171,752 円

1 日平均来場人数: 3,511 人/20 日 = 175 人

平均客単価 : 978 円

売上詳細

出店日	曜日	店名	売上		客数	
			店舗毎	日計	店舗毎	日計
2月1日	土	cafe RE9	¥65,400	¥177,900	73	171
		Gold-Gorilla	¥22,500		23	
		パナマ原人	¥40,200		25	
		カリガリカレー	¥49,800		50	
2月2日	日	Gold-Gorilla	¥101,000	¥213,000	70	160
		パナマ原人	¥112,000		90	
2月3日	月	cafe RE9	¥67,500	¥213,200	58	221
		パナマ原人	¥42,700		45	
		Gold-Gorilla	¥45,000		25	
		car cafe いつものところ	¥33,250		58	
		ことぶきクレープ	¥24,750		35	
2月4日	火	Gold-Gorilla	¥28,700	¥116,050	30	109
		カリガリカレーおきなわ	¥69,050		54	
		パナマ原人	¥18,300		25	
2月6日	木	パナマ原人	¥63,400	¥163,300	80	180
		Gold-Gorilla	¥47,900		35	
		ハニーグリーク	¥52,000		65	
2月7日	金	カリガリカレーおきなわ	¥76,800	¥192,700	72	198
		パナマ原人	¥30,900		30	
		まーさんドッグ	¥15,900		24	
		Gold-Gorilla	¥24,100		24	
		自家焙煎Cafe JUI	¥45,000		48	
2月8日	土	パナマ原人	¥30,100	¥126,690	35	142
		Gold-Gorilla	¥18,200		16	
		Kitchenまかない家	¥38,000		50	
		ドコデモタコス	¥40,390		41	
2月9日	日	パナマ原人	¥56,900	¥251,850	70	284
		Kitchen car kokokara.t	¥68,750		82	
		NoBi	¥61,200		52	
		Kitchenまかない家	¥65,000		80	
2月11日	火(祝)	HIGE'S	¥87,500	¥360,800	124	392
		Gold-Gorilla	¥56,500		45	
		パナマ原人	¥114,850		120	
		Kitchen car kokokara.t	¥101,950		103	
2月12日	水	cafe RE9	¥68,500	¥306,750	61	269
		パナマ原人	¥65,350		70	
		NoBi	¥87,600		52	
		カリガリカレー	¥61,800		53	
		ことぶきクレープ	¥23,500		33	

第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■ 具志川野球場でのキッチンカー出店によるフードコート運営

● 売上(キャンプ期間中合計)

売上詳細（つづき）

出店日	曜日	店名	売上		客数	
			店舗毎	日計	店舗毎	日計
2月13日	木	自家焙煎Cafe JULI	¥33,850	¥143,350	41	145
		パナマ原人	¥57,400		60	
		Gold-Gorilla	¥14,300		12	
		Tank	¥37,800		32	
2月15日	土	自家焙煎Cafe JULI	¥42,200	¥195,750	56	248
		飯や	¥51,650		71	
		パナマ原人	¥76,400		85	
		ことぶきクレープ	¥25,500		36	
2月16日	日	cafe RE9	¥32,000	¥137,600	28	133
		パナマ原人	¥48,500		50	
		グリークハニー	¥29,000		30	
		汁物まる	¥28,100		25	
2月17日	月	Gold-Gorilla	¥40,800	¥164,300	32	177
		パナマ原人	¥48,500		60	
		グリークハニー	¥32,000		50	
		cafe RE9	¥43,000		35	
2月18日	火	自家焙煎Cafe JULI	¥22,750	¥146,700	28	144
		Gold-Gorilla	¥40,000		35	
		パナマ原人	¥45,650		46	
		cafe RE9	¥38,300		35	
2月20日	木	Gold-Gorilla	¥11,800	¥43,961	5	39
		パナマ原人	¥15,600		15	
		ハニーグリーク	¥6,300		9	
		WISTERIA KITCHENS	¥10,261		10	
2月21日	金	パナマ原人	¥4,000	¥11,200	4	15
		自家焙煎Cafe JULI	¥2,900		5	
		カリガリカレーおきなわ	¥4,300		6	
2月22日	土	太陽	¥78,200	¥257,900	86	255
		NOBI	¥72,200		51	
		飯や	¥51,700		53	
		パナマ原人	¥55,800		65	
2月23日	日	太陽	¥31,200	¥59,700	30	58
		パナマ原人	¥15,500		15	
		Gold-Gorilla	¥13,000		13	
2月24日	月（祝）	Gold-Gorilla	¥22,700	¥152,350	13	171
		Kitchen car kokokara.t	¥30,450		36	
		パナマ原人	¥36,900		45	
		太陽	¥30,300		37	
		じんべいや	¥32,000		40	
総計		79		¥3,435,051		3,511

第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■ 具志川野球場でのキッチンカー出店によるフードコート運営

● 前年度との売上比較

	売上	のべ出店舗数
2024年	1,224,250円	93
2025年	34,350,501円	79
前年比	+ 2,219,801円 280.6%	▲ 14

延べ出店数は減少したが、売上は前年比 約280%と大幅に伸びている。うるまキャンプの認知度向上によるキャンプ見学者の増加や、販売メニューのバリエーション増加などが、来場者の好評で売上が増える事につながった。

第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■うるま市役所庁舎装飾

●東棟入口横断幕・懸垂幕

サイズ： 横断幕W3980mm×H895mm 懸垂幕W700mm×H4100mm

設置方法： ロープにて設置



●東棟庁舎内ファサード床面装飾

実寸大バッターボックスのサイズを再現した装飾にてキャンプ日程や場所告知を実施。

サイズ： 横断幕W2000mm×H3200mm

設置方法： カuttingシートにて貼り付け



●東棟庁舎内横断幕

キャンプ日程部分のみ作り変える事で、毎年の使いまわしが可能。

サイズ： W4700mm×H2430mm

設置方法： 2階からロープにて吊り下げて固定



第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■うるま市役所庁舎装飾

●東棟エレベーター装飾

乗降者が必ず立ち止まるエレベーターの外側と内側の扉部分にキャンプ日程や場所告知を実施。

サイズ： W1250×H1250

設置場所： エレベータ内部扉２基、エレベータ外側扉(B1,1F,2F各２ヶ所)

設置方法： カットニングシートにて貼り付け



●東・西棟庁舎内 告知およびマスコット装飾

キャンプ告知や阪神タイガースのマスコットを庁舎内にランダムに配置。庁舎全体を訪れた人がタイガースを意識できるよう装飾を配置した。

設置内容： キャンプ告知ステッカー、阪神マスコットステッカー

設置場所： 東庁舎(B1, 1F, 2F, 3F,階段踊り場、正面入口など)、西庁舎正面入口

設置方法： カットニングシートにて貼り付け



第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■うるま市役所庁舎装飾

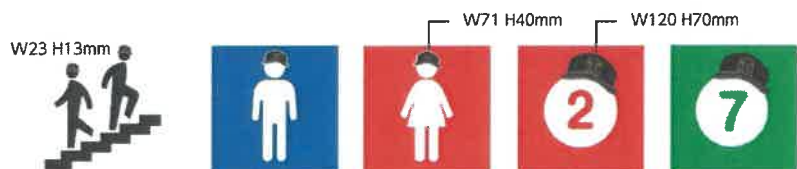
●東棟庁舎内 ピクトグラム装飾

庁舎内に掲出されている案内版やサイネージ等のピクトグラムに、阪神タイガースの帽子をかたどったステッカーを貼ることで、阪神タイガースキャンプ実施の訴求を図った。

設置内容： 阪神タイガースの帽子型ステッカーを庁舎内のピクトグラム周辺に貼り付ける

設置場所：東庁舎(B1, 1F, 2F, 3F, 窓口案内板や階数、トイレ表示など)

設置方法:カッティングシートにて貼り付け



第四章（２）キャンプ受入機運の醸成

■うるま市役所庁舎装飾

●具志川キャンプ参加選手のサイン入り絵馬ディスプレイ

キャンプ終了後うるま市民のキャンプ受入機運醸成を図るため、具志川球場キャンプに参加した全選手、平田監督、マスコットからのサイン入り絵馬を展示。

来庁舎にむけて通年で展示することで、キャンプ期間以外の「うる虎キャンプ」の告知・露出を図る。

サインを記入した絵馬は、スタンプラリー賞品の絵馬を使用した。

設置内容： 直筆サイン入り絵馬(うるまキャンプ参加全選手、平田監督、マスコット・コラッキー、中村市長、佐久川副市長)

設置場所： 東庁舎 1F

設置方法： カuttingシートにて貼り付け



第四章（３）情報を集約させたWE Bサイトや配布物

■情報を集約させたWE Bサイト制作

●めんそーれうるま！うる虎SPRING CAMP 特設サイト

今年度の阪神タイガースうるまキャンプのスケジュールやスタンプラリーなどの施策、具志川球場へのアクセスなど、キャンプ情報を網羅した特設WE Bサイトを制作した。

U R L : <https://uruma-springcamp.com/>



第四章（３）情報を集約させたWEBサイトや配布物

●めんそーれうるま！うる虎SPRINGCAMP 特設サイト アクセス分析

■基本分析

2月1日～2月29日までのアクセス数は3,592件となった。
2月6日(木)のアクセス数が最も多く、408件となった。
また、1日の平均アクセス数は、123件。

■総アクセス数：3,592件
■新規ユーザー：3,524件
■セッション数：3,592件
■平均セッション時間：1分31秒



■チャネル解析

ユーザーがアクセスしてくる方法として最も多いのが、Organic Search(検索エンジン経由)となった。次に多いのが、Referral(ブログや他のサイトからのリンクで表示)、次いでDirect(ウェブサイトのアドレスを入力もしくはQRコードからの表示)という結果となった。

サイト訪問者は、「うるまキャンプ」や「阪神キャンプ」などのキーワードを検索エンジンで検索をして、当ウェブサイトを発見、訪問という流れが多かったといえる。また、阪神タイガース公式サイトに貼られたリンクや球場で配布をしていた配布物からアクセスした訪問者が多かったと考えられる。



第四章（３）情報を集約させたWEBサイトや配布物

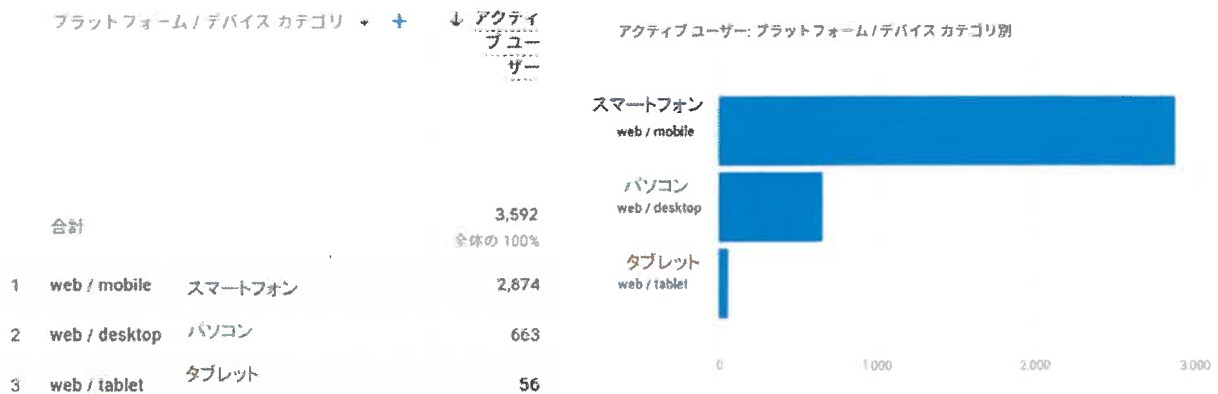
●めんそーれうるま！うる虎SPRINGCAMP 特設サイト アクセス分析

■デバイス分析

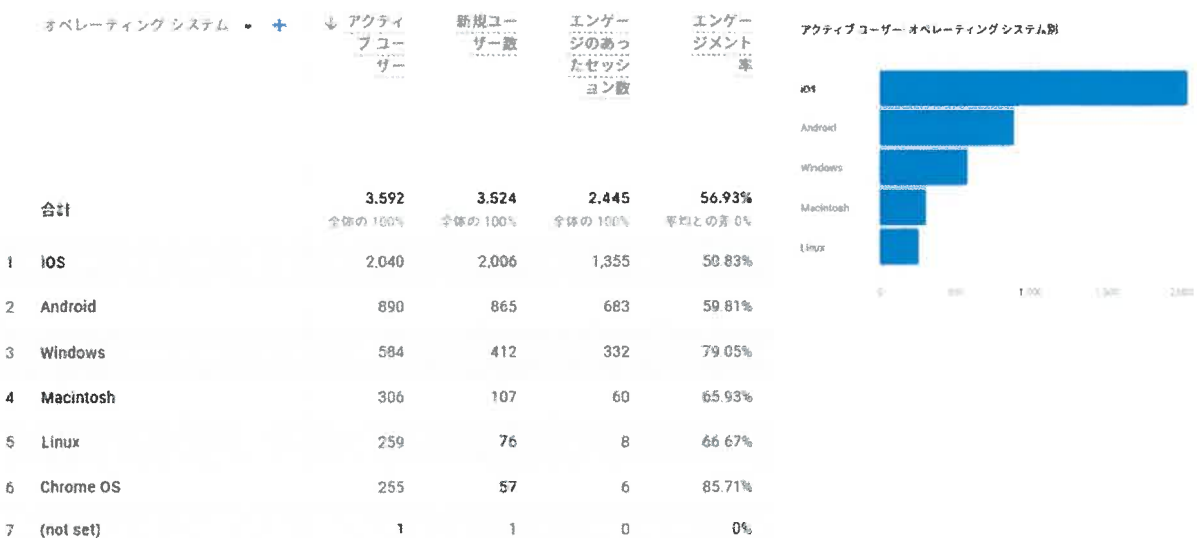
スマートフォンからのアクセスが2,874件、パソコンからのアクセスが633件、タブレットからのアクセスが56件となった。

また、オペレーティングシステム別だとスマートフォンのiphoneからのアクセスが2,040件、次にスマートフォンのAndroidからのアクセスが890件、次にパソコンのWindowsの584件となった。訪問者は屋外や移動中などではなく、自宅や外出先店舗やホテルなどPCを落ち着いて開く環境からサイトを訪問している人も存在していると考えられる。

サイトにアクセスしたデバイス



OS別アクセス



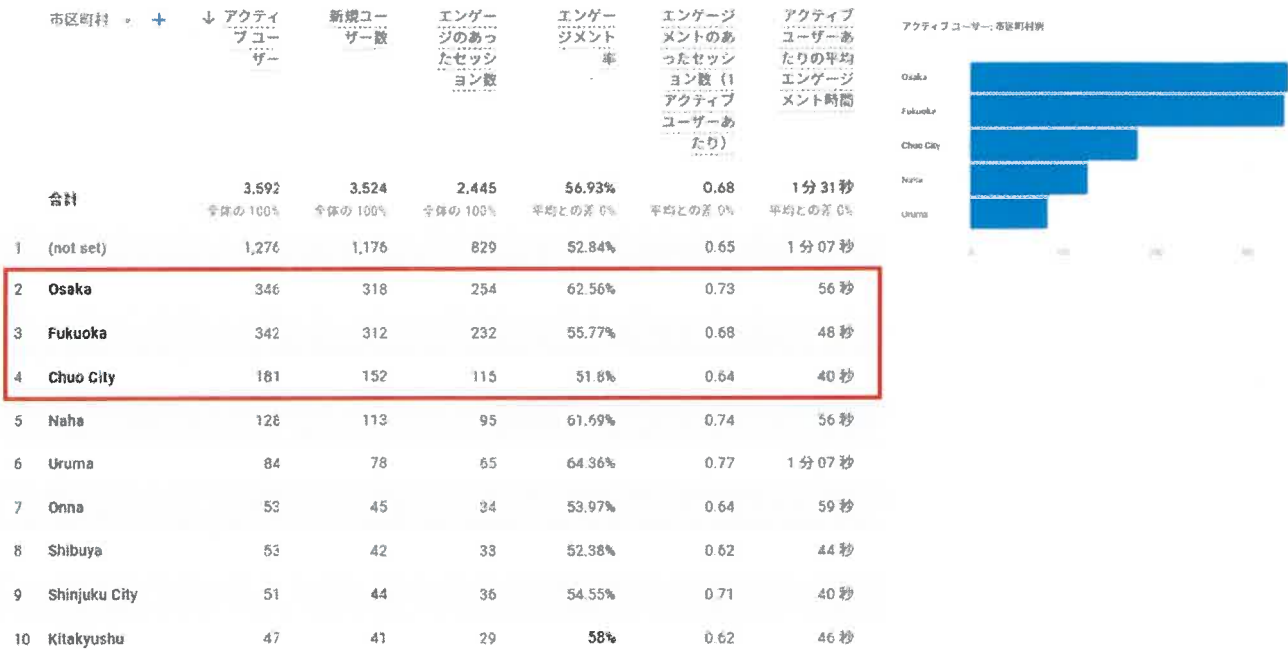
第四章（３）情報を集約させたWEBサイトや配布物

●めんそーれうるま！うる虎SPRINGCAMP 特設サイト アクセス分析

■地域解析

大阪からのアクセスが最も多く、2位が福岡、3位が東京であった。つづいて那覇やうるま、恩納村と県内となった。

県内の数字には、県内在住者だけでなく県内宿泊先からの観光客からのアクセスも含まれる。



第四章（3）情報を集約させたWEBサイトや配布物

●情報パンフレット 「うる虎キャンプ トラの巻」製作と配布

今年度の阪神タイガースうるまキャンプのスケジュールやスタンプラリーなどの施策、具志川球場へのアクセスなど、キャンプ情報を網羅したA4見開き2つ折りパンフレットを制作した。パンフレットには、具志川野球場周辺の飲食店やコンビニなどの店舗情報や、タイガース1軍のキャンプ地である宜野座球場へのアクセス情報なども掲載した。また、特設WEBサイトとクリエイティブデザインをそろえる事で、告知物全体に統一感をもたせた。

配布部数 : 5,000部

配布場所 : 具志川球場スタンプラリーカウンター、スタンプラリー協力店など

設置期間 : 2024年2月1日（木）～25日（水）



表紙

球場周辺情報を記載



裏表紙



中面見開

第四章（3）情報を集約させたWE Bサイトや配布物

■その他の告知

●阪神タイガース公式サイトリンク

【開場時間について】

バイトするならエントリー宜野座スタジアム・うるま市具志川野球場ともにAM9:00を予定しています。

※席取りの行為は禁止とさせていただきます。貼られているシート等は、練習終了後、すべて撤去いたしますので予めご了承ください。

※練習中の選手へのサインのご依頼はお断りさせていただきます。※場合によっては入場制限を行う場合がございます。なお、整理券の配布はございません。

※ペットを連れてご入場いただくことは出来ません。※打撃練習や試合の際、ボールがスタンドや球場外に飛び出る可能性があります。ボールの行方には十分ご注意ください。

※スケジュールは予告なく変更する場合がございます。※宜野座村球場付近の駐車場については、宜野座村役場HPをご確認ください。

■うるま市キャンプ特設ページはこちら

ご来場の際は、上記を予めご確認のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

●うるま市観光物産協会

うるまいろWE Bサイト



Instagram



●沖縄プロ野球キャンプWE Bサイト



第五章

協議会（本会議・運営会議）の 開催及び運営

第五章（１）協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

①概要

スポーツ合宿等の誘致・受入に関して行政と関係機関・団体が一体となって取り組めるよう、「うるま市スポーツコンベンション推進協議会」（以下、「協議会」という。）を設置し、協議会（本会議及び運営会議）の開催を通じて、本事業の円滑な推進を図った。協議会は、本会議に加え、下部組織として運営会議の2つの会議体を設置し、誘致・受入に関する協議を行うとともに事業者との意見交換を行うことで現場での効果検証の再確認及び取り組み内容に関する議論を行なった。

■協議会（本会議・運営会議）開催概要

	開催日時	開催場所	内容
本会議	令和6年 10月3日（木） 14:00～16:00	うるま市役所 西棟 会議室	➤ 令和5年度事業報告について ➤ 令和6年度事業計画について ➤ 令和6年度スポーツキャンプ・合宿受入計画について ➤ 意見交換
運営会議	令和6年 12月23日（月） 10:00～12:00 ※本会議合同開催	うるま市役所 西棟 会議室	➤ 令和6年度事業計画について ➤ 令和6年度スポーツキャンプ・合宿受入計画について ➤ 意見交換 - 受入に際しての取組 - 受入に際しての課題
	令和7年 3月7日（金） 10:00～12:00 ※本会議合同開催	うるま市役所 東棟 会議室	➤ 令和6年度キャンプ・合宿受入状況について（報告） ➤ 阪神タイガースの受入に際しての取組及び対応について（報告） ➤ 受入に際する課題及び対応について ➤ 意見交換

本会議においては、主にうるま市役所庁内の関係部署を中心に外部委員3名を委嘱したメンバー構成としており、運営会議では、宿泊事業者など受け入れに際して関わる団体・事業者によるメンバー構成とした。

委員及び参加者においては、市と協議のうえ次項のとおりとした。また、それぞれの会議を上記の開催概要のとおり開催した。

第五章（１）協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

■協議会（本会議・運営会議）委員及び参加者

本会議		
	所属・団体/役職	氏名
会長	うるま市経済産業部 部長	岸本 力
副会長	うるま市観光物産協会 理事長	瀬名波 良彦
委員	うるま市商工会 会長	宮平 孝也
委員	うるま市体育協会 理事長	船越 一夫
委員	うるま市経済産業部スポーツ課 課長	田場 恵美
委員	うるま市経済産業部観光イベント課 課長	新垣 健
委員	うるま市経済産業部商工振興課 課長	仲地 こずえ
委員	うるま市経済産業部産業政策課 課長	玉城 貴志

本会議の委員については、設置要項のとおり第1回の会議において会長及び副会長の選出を実施した。

運営会議	
	参加者（事業者）
1	うるま市経済産業部スポーツ課 課長
2	市内宿泊事業者（ココガーデンリゾートオキナワ）
3	市内宿泊事業者（ANAクラウンプラザリゾート沖縄うるまヒルズ※1）
4	市内ケータリング・ランドリー事業者（グッドワングループ）
5	通り会（みほそあきない組合）※阪神タイガース取組連携

※1 旧名称「アンサ沖縄リゾート」（令和7年3月より変更）

【運営事務局】

- うるま市経済産業部スポーツ課 担当者
- 一般社団法人沖縄スポーツ関連産業協会

第五章（１）協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

②実施内容

■第1回（本会議）

	概要
開催日時	令和6年10月3日（木） 14:00～16:00
開催場所	うるま市役所 西棟 会議室
内容	➤ 令和5年度事業報告について ➤ 令和6年度事業計画について ➤ 令和6年度スポーツキャンプ・合宿受入計画について ➤ 意見交換

うるま市役所内の人事異動に伴い、新たな構成メンバーにおいて会長及び副会長の選出を行なった。委員意見一致により、会長にはうるま市経済産業部の部長、副会長は互選により、うるま市観光物産協会の理事長を選任した。

第1回では昨年度の振り返りとともに、今年度の戦略的な誘致計画及び新たに取り組むプロモーションの方向性の確認を行なった。本会議における意見・報告は下記のとおりである。

【議事要旨】

- ・ 野球チームの受入スケジュール（案）に関して異論なしで決定。
- ・ 宿泊先（予定）に浜比嘉島、伊計島のホテルが上がっていない理由は、これまでにキャンプ・合宿を受け入れた実績がないこと。その一番の理由は、チーム側にとって金額面が課題となっているから。
- ・ 周遊促進について、闘牛との連携をうまくできないか。ドームやビジョンも活用可能だと考える。
- ・ グッズについて、市で景品を手配するが、事業者も作成したいだろう。ロイヤリティなどの課題あるが、事業者が儲けられるような仕組みづくりがあると良い。
- ・ 希望する（条件の合う）宿泊先がなくてキャンプ・合宿が実施できないなどの機会損失はあるか。1月から3月のキャンプ期間も然り、それ以外の期間で例えば月毎で戦略的にゾーニングしていく必要がある。
- ・ 市内で宿泊施設が足りていないのも事実。データを蓄積していけば、一つの柱を作れるだろう。
- ・ 温暖な気候のメリットはもちろんだが、今は、夏場は避暑地とされていることもあるため、これを売り込めないか。例えば、早朝や夕方の時間を活用すると幅が広がるのではないか。
- ・ 合宿をする目的が、強化からチームビルディングにも重きが置かれつつある。トップチームのなかでもリゾートでビーチやヨガを実施しているところがある。9月や10月の秋頃はその需要が増えるかもしれない。
- ・ 今後は与那城陸上競技場が活用できるため、島嶼地域の宿泊先（ホテル）も着目して良いだろう。
- ・ ハマチュウは廃校施設だが、宿泊や会議室利用などができる。校舎まるごと貸し出すことも可能であり、チームビルディングや地域交流で校庭を使うなどして、相乗効果が期待されるだろう。
- ・ うるま市アリーナ完成に向けて、今からどのように動いていくかが重要。10年後には国体もあり、ホテル含めて、ビジョンの立て方を今一度整理する必要がある。（次項へつづく）

第五章（１）協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

（つづき）

- ・ 現在のところ、SVリーグなどの誘致は、空調など施設整備も含めて厳しい状況と考える。まずはカテゴリーを下げて受入をはじめていき、該当競技が必要とするハード・ソフト面、また受入ノウハウを蓄積していくことで、将来的にはSVリーグ等の誘致活動がスムーズに運ぶのではないかと考えている。
- ・ 対象を大学にも広げて、チームビルディングなどの付加価値を提案していくことも必要である。
- ・ プロモーション関連について、スタンプラリー（商店街周遊）は2軒目以降に足が運ばないことが課題。
- ・ 前はは広く対象としていたため、今回は石川地区に絞って取り組みたい。
- ・ 機運醸成と呼び込みには、装飾に工夫をする予定。通り沿いにフラッグなどがあると目に留まるだろう。
- ・ 動線のほか、球場周りも充実したものであると良い。

■第2回（本会議、運営会議の合同開催）

	概要
開催日時	令和6年12月23日（月） 10:00～12:00
開催場所	うるま市役所 西棟 会議室
内容	➢ 令和6年度事業計画について ➢ 令和6年度スポーツキャンプ・合宿受入計画について ➢ 意見交換 － 受入に際しての取組 － 受入に際しての課題

【議事要旨】

- ・ アンサリゾートでは、昨年度から対応スタッフの増員などもしているため、受け入れ体制は万全の準備を行っている。
- ・ アンサリゾートからの懸念事項は、ホテルからの移動手段としてキャンプ宿泊所からタクシー手配の要望があり、到着時間の遅れや配車時の台数間違い、直前キャンセルなどによる時間通りの運用が行えるかが例年の課題となっている。今年も懸念点である。
- ・ 周遊施策では、今回設定をしている狭く深くのコンセプトに期待したい。
- ・ 今回の施策で成果あげることができれば、今後、少しずつ実施範囲を広げて市内全体への拡大ができると考えている。
- ・ 石川地区の飲食店での協力、調整も整いつつあり、機運醸成の高まりを感じている。今後、協力事業者が他にも広げられるような取り組みになることに期待をしている。

第五章（１）協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

■第3回（本会議、運営会議の合同開催）

	概要
開催日時	令和7年3月7日（金） 10:00～12:00
開催場所	うるま市役所 東棟 会議室
内容	➤ 令和6年度キャンプ・合宿受入状況について（報告） ➤ 阪神タイガースの受入に際しての取組及び対応について（報告） ➤ 受入に際する課題及び対応について ➤ 意見交換

第3回では、本会議と運営会議の合同開催での実施となった。令和6年度におけるキャンプ・合宿の受け入れに關しての取組内容の振り返りを行うとともに、課題や来年度に向けた新たな取組案に關する意見交換を行った。

【議事要旨】

- ・ 高校野球のファンも多いので、高校野球の合宿日程と交流試合の日程をオープンにするのはどうだろうか。集客の1つになり得ると思う。
- ・ 「タイガース」が入ったクラチームがあるため、そこでの連携なども取り入れると良いだろう。
- ・ 協力体制が整ったことで、装飾などの幅も広がったことは良い点だと考えている。阪神側も喜んでいた。
- ・ ロゴを使用できる範囲も広がったため、今後は飲食だけではなくグッズのコラボ商品も広く展開していきたい。
- ・ 事業者の商品などとのコラボの可能性を今後検討していくと良いと思う。
- ・ スタンプラリーに関して、お昼の時間帯にやっているお店が少なく、お昼から夜まで待つ人はそう多くない。昼間でも回れるよう、飲食だけでなく物販の選択肢もあると良いだろう。
- ・ 韓国球団の飲食や市内消費がきっかけで電子決済を取り入れたお店もあり、DX化が広がっている。
- ・ ホテル側では荷物受入の際に、個人へのプレゼントなのか、陣中見舞いなのか、その他客の荷物なのかなど、荷物が混在することがあった。荷物の精査と分別の方法は、来年の課題事項である。
- ・ 昨年度は課題として、退室時の部屋に選手へのプレゼントが残っていることがあり、球団に送り返すものか処分して良いものなのか判断し難いことがあった。今年度は、ゴミ袋を事前に選手に渡し、退室前に廃棄の仕分けしていただく対応を行い大きな改善につながった。
- ・ チームの栄養士と相談をして、フルーツプロテインを導入した。チームにも好評で大変喜ばれた。
- ・ ホテル周辺にのぼり設置等を増やしてもらえると、宿泊客の目によく留まるため、検討をお願いしたい。
- ・ 韓国球団に関しては、陣中見舞いなどはないため、荷物混在の課題はなく、マネージャーとも円滑なやり取りができていたため、特段の課題はなかった。料理に關しても相談をしながらつど改善を行ない、問題はなかった。

（次項へつづく）

第五章（１）協議会（本会議・運営会議）の開催及び運営

（つづき）

- 課題と感じているのは、韓国球団の石川球場でのケータリングの有無の判断。
- 雨天の場合は、球場でのケータリングランチがなくなるため、ホテルのランチ実施レストランの一部スペースを潰して対応することになる。その判断も朝一番に行うなどの対応を行なっているが、すぐに結論が出ない事もある。石川球場の施設整備が整い、雨天でも球場へのケータリングができるような流れが作れるとなお良いと感じている。
- 今回、ホテル予約のキャンセルが入り、ホテル側としては大きなダメージを受けている。2-3ヶ月前の大型キャンセルは大変厳しい。今後、受入交渉窓口のスポーツ課側でも宿泊などの予約に関するキャンセルポリシーを設定していただくことを検討していただきたい。
- キッチンカーの利用（売上）は、去年の2倍以上の結果となっていた。今後、石川球場付近での出店なども検討を進めていきたい。
- 阪神キャンプでは、具志川球場は当日の観光客や来場者も多くいた印象。阪神キャンプに合わせて、1～3月を軸とした観光コンテンツを取り入れると、そこにも足を伸ばしてもらえることもあるだろう。通り会と連携して、検討できると良い。
- 石川地域での、のぼりのキャンプ告知効果は大きかった。認知してもらうことと、そのタイミングで人を逃さないような戦略的な観光も考えていく必要がある。

